

特設展

# 谷崎の愛した

デビュー作の『刺青』から晩年の『癡癡老人日記』に至るまで、谷崎潤一郎（1886～1965年）は男性を翻弄し、本能のままに生きるおんなたちをいきいきと描きました。下町娘の恋の行方をたどる『お艶殺し』初版本、『痴人の愛』のヒロインのモデルになった義妹、せい子の写真、『春琴抄』の主従関係を思わせる妻の松子宛て谷崎書簡など、通常展「谷崎潤一郎 人と作品」と合わせ約100点を展示。谷崎文学を彩った「悪の華」のかずかずをご堪能ください。



老人の愛と性を見つめた『癡癡老人日記』  
（装丁挿画は棟方志功）

2017

7/1 ▶ 9/10

土

日

【開館時間】午前10時～午後5時（入館は4時30分まで）

【休館日】月曜日（7月17日は開館し、18日休館）

【入場料】一般：300円／大高生：200円

中学生以下無料 ※団体料金（20人以上）は2割引

※65歳以上、または身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方、ならびにその介護の方1人は半額

写真右：日本人離れした美貌の義妹、せい子  
左：『春琴抄』などのヒロインのモデルになった妻の松子



日本画家の山村耕花が挿絵や表紙画を手がけた『お艶殺し』初版本

# 悪女

〈特設展示関連講座〉 堀江珠喜講演会「ナオミの魅力」～悪女のススメ!?!～

『男はなぜ悪女にひかれるのか 悪女学入門』（平凡社新書）などの著書のある堀江珠喜・大阪府立大学教授が、『痴人の愛』のヒロイン、ナオミなどを例に悪女を読み解きます。

7月29日（土）午後2時～3時30分 当館講義室 定員30人（予約優先）

参加費 1,000円（入館料込み）

参加者の方の個人情報は個人情報保護法及び当館を運営する大阪よみうり文化センターの個人情報取り扱い方針に基づき厳重に管理し、適正に取り扱います。詳しい内容については同センターのホームページ（<http://www.oybc.co.jp>）をご覧ください。

## 記念館アクセスマップ



## 芦屋市谷崎潤一郎記念館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号 Tel:0797(23)5852/Fax:0797(38)3244

e-mail: [ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp](mailto:ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp) ホームページ: <http://www.tanizakikan.com>

◎徒歩：阪神芦屋駅から南東へ15分 ◎バス：阪急芦屋川駅・JR芦屋駅・阪神芦屋駅いずれも「緑町」下車、東へ徒歩1分

駐車場：隣の美術博物館20台、図書館47台